

「空港・交通インフラ調査特別委員会」委員長として重要施策に取り組んでいます。

現在、福岡県議会「空港・交通インフラ調査特別委員会」委員長として、県政の重要施策に取り組んでいます。

同委員会は、福岡空港と北九州空港との一体的運用と機能強化、経済・産業等の基盤となる高速交通網等の整備、公共交通等県民生活の基盤となる移動手段の充実・確保に臨むとともに、本議会の大きな課題となる福岡市営地下鉄の延伸（地下鉄「福岡空港」駅～JR福北ゆたか線「長者原」駅の結合）といった重要案件を審議し、政策実現に取り組んでいます。

県議会副議長の経験を糧に、今まで以上に県議会活動に尽力して参ります。今後とも変わらぬご指導をお願い申し上げます。

2022年1月

「空港・交通インフラ調査特別委員会」委員長

福岡県議会議員 **原 中 誠 志**



服部誠太郎知事とともに、コロナ対策、県政発展に尽力します！



2021年4月の県知事選挙で初当選された服部誠太郎知事ですが、就任以来、コロナ感染症対策をはじめ、豪雨災害対策、県内事業者への経営支援、困窮世帯への生活支援、教育・保育支援の強化など、県民のいのちとくらしを守る県政を進めてこられました。

私も服部知事を支えるとともに、服部県政に対して様々な政策提案を行ってきました。県議会と県行政は、まさに「車の両輪」の関係にあります。今後とも、県政発展に向け、尽力して参ります

新型コロナウイルス・オミクロン株拡大防止対策に全力を挙げます！

「新型コロナウイルス感染症」は、昨年5波から低減傾向となり、市民生活、地域経済も徐々に回復傾向にありました。しかしながら、昨年12月から新たな変異株であるオミクロン株が世界的に猛威を振るいはじめ、国内でも急拡大しています。

本県では、これまで5波の経験を踏まえ、「福岡コロナ警報」発出の指標としては新規陽性者数のみでなく、新たな変異株やブレークスルー感染の動向など、感染の状況を注視するとともに、ワクチン接種の進捗等を踏まえ、これまで以上に医療提供体制に係る指標、すなわち病床使用率、重症病床使用率を踏まえて警報発出を判断することとします。

これまで同様、コロナ感染症拡大防止に努め、新規陽性者を抑え込みむとともに、併せて地域経済も回していかなければなりません。

そのためにも、引き続き皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

【福岡県「新型コロナウイルス感染症ポータルページ」】

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>

『福岡県立美術館』、県営「大濠公園」南側に移転を決定。



福岡県は、新『福岡県立美術館』の建て替え予定地について、「福岡県有識者委員会」の報告書を受け、「大濠公園」南側にある「福岡武道館」跡地に決定しました。

新県立美術館は2029（令和11）年の開館をめざし、今後、計画、設計、工事という手続きに入ります。

昨年『12月県議会』、我が会派の代表質問において、「新県立美術館の設計者選定及び現県立美術館の活用方策について」、「新県立美術館の独自性

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/140987.pdf>

と福岡市美術館との連携について」知事の基本認識を質しました。

服部知事からは、「新県立美術館は文化芸術活動の場にふさわしい豊かな空間や美術作品を保護するという基本的機能のほか、時代の変化に合わせ進化し続ける技術や新たな芸術表現に対応できる機能を備える。」、「美術館が集積する東京の上野公園や京都の岡崎地区では、共通のテーマで展覧会やイベントを開催することにより、多くの人々が訪れ、賑わいが生まれている。福岡市美術館との連携が重要である。福岡市美術館とは、新県立美術館基本計画の策定の際にも、意見交換を重ねており、今後も具体的な連携方策について協議する。」との回答を得ました。

今後も皆様の声をお聞きし、建設、開館に反映させて参ります。

県営『西公園』再整備に向けた、第2次サウンディング調査を実施します。



再整備計画の公募エリア地
(中央展望広場周辺)

県営「西公園」は、1881（明治14）年に公園地となり、お花見、散歩、ランニング、自然観察など、多くの魅力を持つ歴史ある公園として市民に親しまれています。

しかしながら、近年、生長した樹木等によって眺望や見通しが阻害され、安心して公園の利用ができないことから、以前ほどのにぎわいなくなっています。

そこで、西公園が持つ「眺望」「みどり」「歴史」の魅力を最大限活かしたにぎわいのある公園にするため、県では再整備を行うことにしました。

県は「西公園」再整備における民間活力の導入を検討するにあたり、事業者の自由な発想に基づく幅広い事業アイデア、さらに募集条件についての事業者の意向や公園への

評価・期待などを幅広くご意見を伺うことで、公募の内容、官民の役割分担といった公募における条件整理に役立てることを目的に、「サウンディング調査」を実施しました。

今後、民間事業者の皆様からの提案・意見等を参考にし、県として「西公園再整備基本計画」を策定後、「第2次サウンディング調査」を実施し、民間活力導入に向けた取組を進めていく予定です

「九州の自立を考える会」総会が開催、服部知事が基調講演。



昨年12月20日、九州の自立・発展を目的として新しい公共政策課題研究に政財界で取り組む「九州の自立を考える会」『令和3年度定例総会』が開催されました。

今回、服部誠太郎知事が基調講演を行いました。

講演は、「福岡県の未来の扉を開く～3つの挑戦～」と題し、「次代を担う『人財』の育成」、「世界から選ばれる福岡県」、「ワンヘルスの推進」でした。

服部知事は、「これからの日本の発展を支えていくのは九州です。福岡県が、九州のリーダー県として、しっかりと飛躍、発展を遂げ、九州をけん引していかなければなりません。」と述べられました。